

## A: 市民活動

### 公益的な活動や、まちづくり...もっとたくさんの市民に参加してもらうには？

メンバー1 わんちゃん、じゅんちゃん、ふるちゃん、池さん  
2 カズさん、竹ちゃん、み-ちゃん

#### 「安城のパートナーシップ」こうしたらもっと良くなる！提案ベスト3

- ★1 広報も口コミもどっちも大切 (子供の情報も口コミのテクニックの一つ)
- ★2 参加の楽しみを伝える (自分が参加するのが一番楽しい！)
- ★3 参加した後のフォローアップが大切 (参加したことの評価を次につなげていい方向の展開へ)

大提案		実際の意見
<b>広報も口コミもどっちも大切</b> (子供の情報も口コミのテクニックの一つ)	現状・問題点・課題	1広報 2ホームニュース 3社協・公民館 4自分で配布 広報を見ていない インターネットでも見ていない 広報を見ない人は、インターネットも見ない 広報は情報の宝庫 ホームニュースは見てる？なんで知ったと聞くとホームニュースと聞く 市民参加 深いか広くか 深く理解されて広がっていくこともある みんなが見る方法 広報以外で考える 口コミの大切さ大 広報と口コミの間”あんみつ” 良い点も悪い点も勝手なことを言っているとは違う
	解決案 具体的な手段	まちかど小学校区単位10~20人 時間配分 市長や市民を優先 きいてくれなかった 2度と行きたくない 幼・保・小学校(子ども)を通じてPRすると家族に伝わる 家族(子ども)先生が子ども(幼・小)伝える 家で親に話す 家族で参加 子どもの興味 家族の興味 ターゲットを絞る ターゲットの周りをせめる、広げる
<b>参加の楽しみを伝える</b> (自分が参加するのが一番楽しい！)	現状・問題点・課題	ゆとりがない 文字を読むひまがない 勤め人 土日も仕事ある 夜も遅い 若者・単身者は興味がないのでPRがむずかしい！ 興味のあるイベントは良いが、感心のない行事に向かせる方法は？
	解決案 具体的な手段	情報の必要性 自分にとって何が欲しいのか。広報は多すぎて見たくない 催し物のターゲットに合った人に参加を促す 目的と事業をはっきりさせたい効果も 参加の楽しみを伝える 字を大きく書いてみる(高齢の方向け) 公民館、お店の前に貼る
<b>参加した後のフォローアップが大切！</b> (参加したことの評価を次につなげていい方向の展開へ)	意義・具体案	(市民)参加後のフォローアップが大切 参加したことの評価を次につなげる 事業を継続することも大切 じゃあ来年も 人と人とのつながり イベント後アフターフォロー 他団体の宣伝・コラボ・手紙・tel
	導入による問題	事業定着後の悪循環をどうするか(始めた人と新しい人と) 項目が多すぎると書いてくれない、いいとこどり 人の想いだけでアンケート回答率が変わってくる

## B:活動支援

### 市民活動を応援・支援するしくみ どんなのが、あればいい?

メンバー1 おーちゃん、竹ちゃん、よしさん、荻ちゃん、力さん

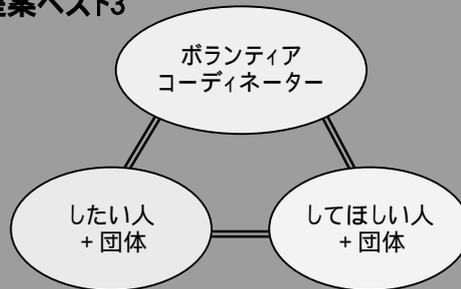
2 じゅんちゃん、みきちゃん、松ちゃん、ほそいさん、おーちゃん

#### 「安城のパートナーシップ」こうしたらもっと良くなる！提案ベスト3

#### ★1 表彰制度

★2

#### ★3 情報をみつけやすくする支援



#### 大提案

#### 実際の意見

大提案	実際の意見	
表彰制度(人・団体・企業)	現状	安城市はちょっとかたいよね!!
	導入によるメリット・デメリット	一番やすいはげまし 精神的なインセンティブ(ごほうび)を与える モノ・カネも大事だけど、ココロで感じられる支援も 市と行政がおすみつきを与える役割り きっかけは企業イメージのUPでいい 企業も活動している社員を表彰する制度があれば社員が活動しやすい そんな企業を表彰する制度も 選定基準がむずかしい
	ボランティアコーディネーター	はじめの一步、これを助けてあげて欲しい ちゃんとしたボランティアコーディネーターが大事 市民グループと企業が活用・育成 最初は行政が手伝ってあげて。だんだん市民で
	したい人+団体	したい人を育てる
	してほしい人+団体	受けとる側も育てる(とっても大事よ!!) 行政だけでなく市民にもできるんじゃない(事業仕分け) この考え大事
	情報支援	情報提供支援・要望 情報の発信も大事 市民活動には内向きと、社会に目を向けてやっていることとある 情報は「不足」している。でも「必要でなかったり」する
	金銭的支援	困っていることは特にない!?(自己満足) この人達に支援は必要か? おせっかい? 必要ない? 今(現状)は困っていない。でも今の活動の10年後はどう!! ただより高い物はない。どういう形で支援を受けるかを考えることが大事 全部タダっていうのはどうか? 一律支援はおかしいかも 宴会の資金を市が支援するのはおかしいよ
その他	有力者がグループと同じ立場で参加 親近感、心強さ 育っているところ、そうでないところ色々 職員が仕事として活動に参加するのもアリじゃない 新しい人がなじめなくてやめちゃうことも。 ホントに人を新しく入れようとしてますか? 体質が古くない?	

**C:協働  
市(行政)と市民活動団体  
パートナーとしてよりよい協働関係を築くには？**

メンバー1 ふかっちゃん、カズ、ほそいちゃん、ハセケン  
2 ふるちゃん、あやちゃん、よしさん、ハセケン

「安城のパートナーシップ」こうしたらもっと良くなる！提案ベスト3

- ★1 **本根(音)トーク**
- ★2 **お互いに立場を尊重**
- ★3 **お見合(マッチング)**

大提案		実際の意見
本根(音)トーク	現状・問題点 ・課題	市の職員だと知れるとバーっと言われる。市民もあんまり言わないようにしないと
		市民もあんまり職員(市)を悪く言ってはいかんよー
		職員が早く帰ったり子どもの参観に行くと、けっこう周りから言われたり、ヘンな目で見られる。そういうのやめようよ。
		要望型をどうやったら提案型にできるかなあ 市民は要求型にならない
お互いに立場を尊重		お互いの欲しているところを理解しないと お互いの情報提供、共有 お互いの立場で考えよう
お見合(マッチン)	現状・問題点 ・課題	活動団体の素性が分からない
		お見合い(やりたい人とボランティア団体)かたくなりがち けっこうねえ、市民も第一歩がふみだしにくい
		信頼関係が大事 顔の見える関係が重要
		解決策 具体的な 手段
活動団体・市民活動・市民・行政とのなかよくなるう会を 年大イベントとして一回実施する		
その中で活動の仕方、支援してほしいことなどぶっちゃけて話し合う		
その他		行政はプロ。でも協働は必要 ボランティア・市民を育てる施策を 市にたよる市民がいる(例えば要介護支援) 市民の活動は自分の為でもあるが、他への影響力あり

## D:地縁と結ぶ

### 市民活動団体が町内会など地域コミュニティと連携・協働するためには？

メンバー1 みきちゃん、みーちゃん、松ちゃん、あやちゃん、Sally

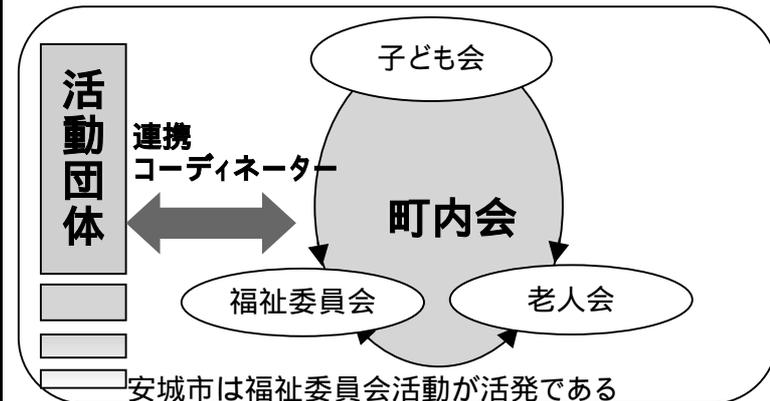
2 荻ちゃん、力さん、ふかっちゃん、池さん、Sally

#### 「安城のパートナーシップ」こうしたらもっと良くなる！提案ベスト3

- ★1 **連携コーディネーター**（地域と活動団体のニーズ、情報を結ぶ）
- ★2 **情報宝箱**（お互いの情報を、必要な時にとりだせる）
- ★3 **情報発信の方法**（宝箱に収めやすく、色々な立場から）

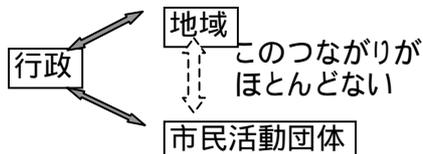
#### 大提案

お互いがよく知らない。  
経験もない。



お互いのニーズ

- ・情報発信、それを結ぶコーディネーター
- ・情報宝箱



#### 実際の意見

連携するときの役割りとルール決め exゴミ袋、回覧板 知ってもらう

団体側のメリットのみでなく町内会のメリットも考えて...

地域 各団体 お互いに協働によるメリットがあることを知る。なければ動かない

#### 情報宝箱

(お互いの情報を、必要な時にとりだせる)

人は自分に興味があることにのみ興味がある  
自分は必用になって初めて気がつく。必要性をPR

#### 情報発信の方法

(宝箱に収めやすく、色々な立場から)

町内回覧板に団体の活動PRを入れさせてもらうなど。

市民活動団体のPRが少ない(内にこもる)